

経済学専攻

事前課題

<小論文：問題>

下のグラフは、日本における GDP デフレーター、持ち家の帰属家賃を除く家計最終消費支出デフレーター（以下「消費デフレーター」と呼ぶ）および名目賃金それぞれの前年同期比変化率の推移を示している。このグラフに基づいて、以下の2点について、(1)(2)の順に一連の文章にまとめて500字以上800字以内で説明しなさい。

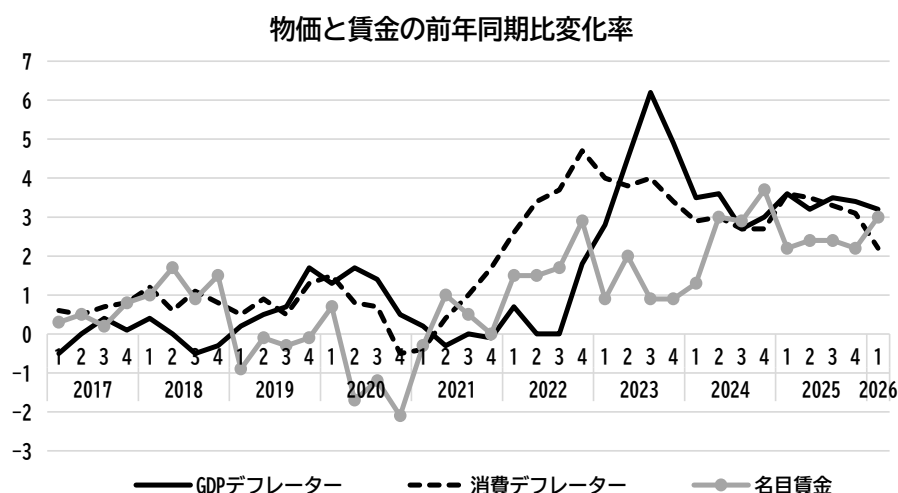
(1) 2021年から23年頃まで、GDP デフレーターと消費デフレーターの乖離を伴いながら物価上昇が生じた理由と家計への影響

(2) 2%程度のインフレを目標とする政策の意義と現状評価

なお、解答にあたっては、以下の指示に従いなさい（指示のない事柄はすべて任意）。

- ・(1)と(2)それぞれの内容の先頭に「(1)」「(2)」と記すこと（段落は改めなくても改めなくてもよい）。
- ・(1)と(2)の文字数の配分は任意であるが極端に偏らないようにすること。
- ・(1)と(2)を合わせた全体で以下のキーワードを5つ以上用い、最初に使った箇所に下線を引くこと。

【キーワード】デフレ脱却、コスト・プッシュ・インフレ、ホームメイド・インフレ、インフレ期待、人手不足、コロナ禍、円安、「安いニッポン」、イノベーション、実質賃金、労働生産性、労働分配率、資本効率



【グラフの注記事項】

- 凡例
横軸：年・四半期
縦軸：%
- データソース
(1) GDPデフレーターと消費デフレーター：内閣府「四半期別GDP速報」
(2) 名目賃金：厚生労働省「毎月勤労統計調査」現金給与総額（5人以上の事業所計）

小論文の課題を事前提示するが、小論文の答えは、入試当日の小論文試験の時間中に、試験会場にて配付される解答用紙で作成して提出すること。筆記用具以外の持ち込みは禁止とする。